

## お世話になったすべての方々へ感謝

3月8日（木）、鶴田中学校で卒業式が執り行われ、卒業生141人（男子78人・女子63人）が、3年間の思い出を胸に、慣れ親しんだ学び舎を巣立ちました。

式の最後の卒業生答辞で、代表の瀧谷光年君が「今までお世話になった方々へ卒業生全員でお礼を述べます」と卒業生全員を起立させ、来賓の方々、先生方、在校生、保護者の方々へ一礼して「ありがとうございました」と声を合わせて述べ、今までお世話になった方々への感謝の気持ちを表していました。



△涙のあふれる最後の校歌斉唱（右）と退場シーン



△お世話になった方々へ卒業生全員で「ありがとうございます」



・左／2月29日、中央保育所の園児たちが中野町長に手づくりカレンダーとお花を贈る  
・右／2月28日、三戸あつさん（松倉）に町から100歳達成のゴールドメダルが授与される



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを役場総務課まちづくり班までどしどしお知らせください。（☎22-2111 内線263）

## 町の子どもたちへお手玉を贈る

2月13日（月）、鶴田町生活改善グループ協議会（小野寺のり子会長）が町教育委員会を訪れ、子どもたちに遊んでほしいと、手づくりの「お手玉」600個を小笠原教育長に手渡しました。

この活動は今年で7年目になり、今まで子どもたちに贈ったお手玉の総数は5千個にもなります。

材料になる布は会員が持ち寄り、中身の小豆も会員が栽培して収穫したものを使用して、製作した100%手づくりの真心がこもったお手玉です。

現在、このお手玉は、各小学校サンシャインスクールの教材として利用されています。児童の皆さん大切に楽しく遊んでください。



△小笠原教育長にお手玉を手渡す小野寺会長（右）と会員の皆さん

## 祝還暦人生の節目を祝う

2月11日（土）、国際交流会館ホールで対象者75人（昭和26年4月2日から同27年4月1日までに生まれた方が対象者）が出席して「第20回鶴田町実年式」が執り行われ、還暦という人生の節目を祝いました。

はじめに「鶴になった男」でおなじみの高橋良治先生による丹頂鶴についての記念講演が行われ、次に行われた式典では、中野町長から「皆さまの培ってきた経験と英知は町の宝であります」と式辞がありました。式典終了後に行われた祝賀会では、主催者代表として竹浪誠也実行委員長「このような実年式を迎えたことは私自身感激にたえません」とあいさつを述べ、久しぶりに一堂に会した仲間や同級生たちが昔話に花を咲かせていました。



△参加者全員による記念撮影。左上は式典で町民憲章を朗読する皆さん



△当日の会場の模様。今までにない盛り上がりを見せっていました

## これからも輝き続けるはげます会

2月22日（水）、町内某所において、ツル多はげます会（太田昭司会長）例会「新春の有多毛」が開催されました。

この日、町内外から17人の会員が参加。今回は幹事長である竹浪正造さん（94）の絵日記がベストセラーになったこともあって、全国からたくさんの報道陣の方々が取材に訪れました。

有多毛では「名月当てクイズ」に続き、恒例の「吸盤綱引きトーナメント」が行われ、取材に来ていたテレビ局のアナウンサーも飛び入り参加をして、大変な盛り上がりを見せっていました。

今回の例会では、この会の進行役でもある竹浪正造さんが、「今回限りで幹事長を若い会員に譲り、これからは一会员として参加したい」と話されていました。



△トークショー（上）と一人一人にていねいにサインを書く竹浪さん  
△フジテレビに生出演したときの様子。麻生氏に厳しい一言を

## 日本一多忙になった正造じいちゃん!!

現在、本のヒットで大忙しの竹浪正造さんが、2月12日（日）、フジテレビ「新報道2001」に日本のおじいさん代表として生出演しました。

共演した元内閣総理大臣麻生太郎氏に自分の本音を述べ全国の話題になりました。

また、2月20日（月）には青森市の書店が主催する「トークショー＆サイン会」に出演して、訪れたファンに絵日記のお話を述べていました。